

夏のつどい(同窓会)がありました。

年に1度、本校卒業生を中心に開催される夏のつどい。今回で51回年となります。コロナ禍の3年中止になり、昨年4年ぶりに、プログラムをコンパクトにして実施となりました。定番のカレーライスは、廃止にして、午前中までの開催です。「夏のつどい」は、本校卒業生の「ふよう会役員(本校卒業生20代~60代)が、数カ月前から、企画内容の検討、案内状の作成、案内状の発送準備など、担当の先生とみんなで準備を進めてきました。

今年のイベントは、的当て、ボーリングなどのゲームとプラ板のキーホルダーづくり、カラオケ、プールでした。参加者は、それぞれ思いをもって、いろいろなイベントに参加して、楽しみました。販売コーナーでは、卒業生が働いている作業所5店舗が商品を販売しました。ケーキなどのお菓子や、さおり織りの小物など作業所の方とやり取りしながら、様々な物品を観て、購入して楽しみました。最後には全体写真を撮って、閉会となりました。それぞれ「春のつどい」での再開を約束して満足した表情で帰路につきました。思い出に残る一日となりました。



この週末は、ゆっくりと進む大型台風10号の進路に気を揉みましたが、学校付近は、被害が出ずに済み、無事に始業式を迎えることができ、ほっとしています。被害が大きく大変な思いをされている地域の一刻も早い復興をお祈りしております。

さあ今日から2学期です。「久しぶり」と日焼けした顔の子ども達が笑顔で揃いました。少し合わないだけでありますが、子ども達がずいぶん大人びた表情になったことを感じます。熱中症警戒アラームが日常になった夏休み、子ども達の生活づくりでは大変苦労されたのでないでしょうか。また、お盆休み前に地震や大雨で、予定変更された方もあったかも知れませんね。保護者の皆様、長い夏休みお疲れ様でした。

2学期は、1年の中でも一番長く、季節の変化も大きい学期です。そして、運動会、合宿、デイキャンプなどいろいろな行事があります。それらの行事に取り組み中で、仲間との関係は抜がったり深まったりします。また、授業では、1学期の学びを土台にして、じっくり深めることができます。子ども達が飛躍し成長する学期といえるでしょう。特に、10月に実施する「運動会」は、本校が大事にしてきた節目の行事です。子ども達にとって意味のある運動会にするために、1学期から教師が一丸となって「内容づくり」に取り組んでいます。今年度らしい運動会を創っていきたいと思います。保護者の皆様にはいろいろな面でご協力をお願いする事になります。2学期もどうぞよろしくお願い致します。

2学期が始まりました。



No. 408
2024年
9月2日(月)
発行
神戸大学附属
特別支援学校
〒674-0051
明石市大久保町大窪2752-4
Tel 078-936-5683
Fax 078-936-7114
Mail:kuspe-yougo@edukobe-u.ac.jp
URL:<http://www.edukobe-u.ac.jp/hudev-yougo/>

韓国 セックム特別支援学校との交流

セックム特別支援学校訪問記 (黒川先生と長谷川先生)

8月20日~23日の日程で前校長の津田先生にご紹介いただき、神戸大学の学生とともに韓国を訪問しました。セックム支援学校は肢体不自由の生徒の学校で、130人あまりの児童生徒がいます。学校への訪問は、今回で3回目ですが、生徒達と顔を合わせるのは初めてです。この日は、夏休みが開けて2日目。中高の生徒達が、私達を歓迎して、交流会を開いてくれました。交流会では、本校の学校紹介動画(ハングルの字幕付き)で本校を紹介した後、けん玉の技や篠笛を披露しました。みんな熱心に観てくれて、大いに盛り上がりました。セックムの生徒からは、歌の披露もあり、代表の生徒がのびのびと歌っている姿が大変印象的でした。校内には、ボタン一つで動かせる教材や作業台などが完備され、障害の状況に応じて操作できるようにしてありました。子どもたち一人ひとりの能力が発揮できるような配慮が様々なところでみられました。その後、50kmほど離れた忠清南道に位置する礼山特別支援学校を訪問しました。礼山は2年前に開校したばかりの知的障害児を対象とした新設校です。校内にカフェやジムなどがあり、地域の人が気軽に足を運んで集える場となっていました。また校内のスロープには、美術の作品が数多く飾られており、日々の取り組みを共有できる工夫がなされていました。今回、現地に行って韓国の学校教育に触れたことで、日本の学校教育を見直すよい機会となりました。

(文責 黒川 陽司)



セックム特別支援学校の先生が来校されました

7月30日の登校日、セックム特別支援学校から4名の先生が来校されました。まずは、全校生のプール活動を参観されました。子ども達は、「アニョハセヨ!」と元気よくお迎えしました。プールでは、久しぶりに全校生での水中列車に取り組み、つながってぐるぐる回るうちに大きな渦が生まれ、流れるプールの様な水流に乗って楽しむ様子を見ていただきました。韓国の学校にはプールは設置しておらず、プール学習の様子は、大変めずらしかったようです。その後は、体育館で、中学部と高等部と交流会を持ちました。体育館は、高等部の生徒が、ハングル文字で壁面を飾ったり、それぞれのお名前を書いた色紙に折り紙の小物を添えてテーブルセッティングしたりと準備していて、セックムの4名の先生は子ども達の心のこもったプレゼントに大変感動されていました。セックム特別支援学校の「学校紹介ビデオ」と見てセックム体操と一緒に踊ったり、チョン・ヨンスク校長先生のお話をきいたりしました。本校からは、中学部、高等部それぞれに「歌の贈り物」をしました。子ども達を見送った後は、本校職員全員で昼食会を持ち、大いに盛り上がりました。



第2回 哲学カフェのお知らせ
9月11日(水) 9時半~11時半
★神戸大学の稲原先生主催の哲学カフェを開きます。前回は、卒業生の保護者も参加して対話が深まりました。参加ご希望の方は、前日までに、殿垣までお知らせください。